

【島唄編】



本校は、毎月18日を「せっかく島にいるから島口を使おうの日」と位置付けています。町としても子ども島口・伝統芸能大会という催しに力を入れています。そこで、島口を使った歌を披露する場面を想定して、世代を超えて盛り上がる歌も交えて披露しています。表現活動の一環として取り組んでいます。

背景には、大衆を前に萎縮してしまう子どもたちの姿がありました。「いつも励ましをもらってばかりいる私たち。時には、校区の方々を楽しませる立場にも立つべきでは？」という思いでチャレンジが始まりました。

子どもたちが伸び伸びと取り組んでいる姿に癒やされてしまうのです。



豊年祭で島の童歌を披露し、敬老を祝う。

【島口編】

毎年、三味線教室でお世話になっている地域の方に「島口教室」を行っていただいています。

今年度は、毎日の校内放送を島口で行うようにしてみました。

たどたどしい語りになることもありましたが、子どもたちの吸収力もあり、最近では、板についてきたようです。

日常活動の大切さを実感しています。

【朝の放送の一部】

みなさん、すかまや うがみんしょうらん。
きゅうや 〇月〇日〇曜日じゃすか。
きゅうむ、ちんちゃり うむえきち きばりんしょうやー

【そうじ終了時】

とうくおたん 道具んきゃ のーち
ていんきゃ あろーてい しゃおろーやー。
15分間きばていくりにてい ありげていさまりよーた。



島口教室（7月）



毎週水曜日放課後の三味線教室でも島口を教わります。



令和8年度 100周年を迎えます。

おかげさまで

瀬戸内町立油井小中学校



記念祝賀会:令和8年11月以降
学習発表会終了後を予定

